

近年のサケ稚魚放流期における沿岸水温の変動

福島県水産海洋研究センター 漁場環境部

1 部門名

水産業 - 栽培漁業 - サケ

2 担当者名

長沢 茜

3 要旨

近年、全国的にサケ親魚の回帰率が低下しており、要因の一つとして稚魚放流時期の沿岸水温の上昇が示唆されている。適水温期（適水温：8～13℃）に合わせたサケ稚魚放流を検討する際の一助とするため、放流後のサケ稚魚が滞留する2～4月の沿岸水温について整理した。2023、2024年の沿岸水温は平年と比較して顕著に高く、適水温期間が非常に短かった。稚魚の生残には好ましくない環境であることが明らかとなり、回帰への影響が懸念された。

(1) FRA-ROMS II の再解析値を使用し、141-00E～141-05E、①北（37-35N～37-55N）、②南（37-15N～37-35N）を対象とし（図1）、範囲内の平均水温を使用した。期間は2023～2024年とし、サケ稚魚放流から沿岸に滞留する時期に相当する2～4月の日別水温を整理した。

(2) 2023、2024年の沿岸水温は平年と比較して顕著に高く、特に南の2～4月の適水温日数は2023年は7日、2024年は2日と非常に短いことから（図2）、稚魚の生残には好ましくない環境であったと考えられた。



図1 解析範囲

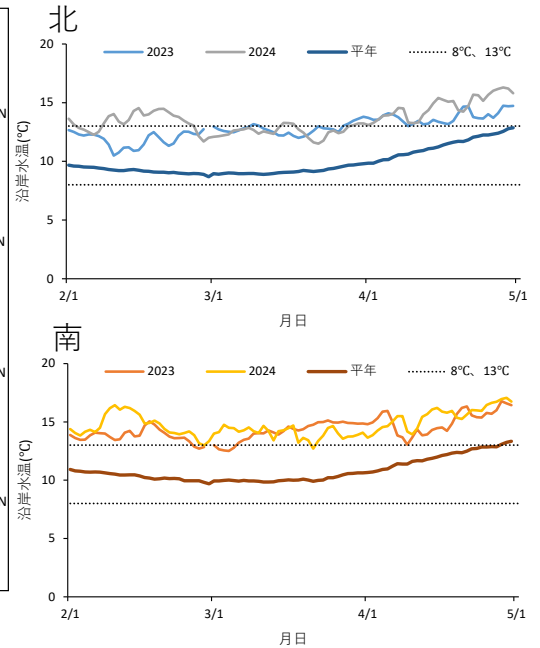


図2 沿岸水温(表層)の推移 (2023、2024年2～4月)

* 平年：1993～2022年の沿岸水温(表層)の平均

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和3～7年度

(2) 研究課題名 サケ回帰状況の把握と回帰予測

5 主な参考文献・資料

- (1) 川島拓也, 清水勇一, 太田克彦, 山根広大, 三陸沿岸におけるサケ幼稚魚の分布, 生息環境と親魚回帰, 日本水産学会誌, 84(5), 928, 2018.
- (2) 佐々木恵一, サケ稚魚の沿岸移動分布, 平成14年度参考となる成果
- (3) 提供：国立研究開発法人水産研究・教育機構 FRA-ROMS II (改良版我が国周辺の海況予測システム) 水温解析値